

関係各位

兵庫県病虫害防除所長

令和7年度病虫害発生予報第2号を發表します。

令和7年度病虫害発生予報第2号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
水稻 (早期水稻)	いもち病(葉いもち)	平年並	平年並
	ヒメトビウンカ	平年並	平年並
なし	黒斑病	平年並	平年並
	ハダニ類	平年並	平年並
	アブラムシ類	やや多	やや多
	ニセナシサビダニ	平年並	平年並
野菜等共通	ハスモンヨトウ	やや多	やや多
	シロイチモジヨトウ	やや多	やや多
	オオタバコガ	やや多	やや多
果樹等共通	果樹カメムシ類	平年並	やや少

太文字の病虫害:向こう1か月の間、発生状況に特に注意を要する病虫害を示す。

*** 気象の概況**

近畿地方 1か月予報
(6月7日から7月6日までの天候見通し)

令和7年6月5日
大阪管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

近畿地方 1か月予報 (06/07~07/06)		
2025年06月05日14時30分 大阪管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 06/07~07/06	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率80%です。
1週目 06/07~06/13	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 06/14~06/20	気温	2週目は、高い確率80%です。
3~4週目 06/21~07/04	気温	3~4週目は、高い確率60%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 06/07~07/06	
		1週目 06/07~06/13	
		2週目 06/14~06/20	
		3~4週目 06/21~07/04	
降水量	近畿地方	向こう1か月 06/07~07/06	
日照時間	近畿太平洋側	向こう1か月 06/07~07/06	
	近畿日本海側	向こう1か月 06/07~07/06	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

根拠中の記号

- (+) : 発生量を多くする要因
- (-) : 発生量を少なくする要因
- (±) : 発生量が平年並になる要因

水稻（早期水稻）

1 【いもち病（葉いもち）】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず） (-)
気象予報 気温は高い (±)
降水量は多い (+)

2 【ヒメトビウンカ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は多い (-)

なし

1 【黒斑病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (±)
降水量は多い (+)

2 【ハダニ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 1週目は高い (+)
降水量は多い (-)

3 【アブラムシ類】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多** (+)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は多い (-)

(3) 防除上の留意点

ア 農薬散布時は、薬液が十分かかるように不要な徒長枝を切り落とす。

イ 薬剤防除を行う場合は、病虫害・雑草防除指導指針等を参考にして、農薬使用基準を守る。また、同系統の薬剤の連用は避ける。複数回防除をする際は、IRACコードを参考に薬剤選定し、ローテーション防除を行う。

4 【ニセナシサビダニ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
 気象予報 1週目は高い（+）
 降水量は多い（-）

野菜等共通

1 【ハスモンヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多**（+）
 フェロモントラップへの誘殺数は平年並～やや多い
 気象予報 気温は高い（+）
 降水量は多い（-）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の幼虫は、ピーマン、ナス、キャベツをはじめ多くの野菜類を加害する。
 - イ 卵塊や集団でいる若齢幼虫を見つけたら、すみやかに捕殺する。
 - ウ 中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。
 - エ 薬剤防除は、病害虫・雑草防除指導指針、防除情報等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

2 【シロイチモジヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多**（+）
 フェロモントラップへの誘殺数は平年並～やや多い
 気象予報 気温は高い（+）
 降水量は多い（-）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の加害植物は、ネギ、キャベツ、ピーマン、ナス、レタスをはじめ多くの野菜類のほか、豆類、花き類など広い範囲に及ぶ。
 - イ 本種は茎葉の柔らかい部分を好んで食害する性質があり、定植直後の被害には特に注意する。
 - ウ 薬剤防除は、病害虫・雑草防除指導指針、防除情報等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

3 【オオタバコガ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多**（+）
 フェロモントラップへの誘殺数は多い
 気象予報 気温は高い（+）
 降水量は多い（-）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の加害植物は、ピーマン、ナス、キャベツをはじめ多くの野菜類のほか、

花き類など広い範囲に及ぶ。

イ 果実や花蕾に穿入した幼虫及び中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。

ウ 成虫の産卵、飛来防止による防除手法として、防虫ネット、黄色灯、性フェロモン製剤がある。

エ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布する。

オ 防除についての詳細は令和7年度病虫害発生予察防除情報第5号（令和7年5月20日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuiscangc.jp/archives/1346>）を参考とする。

果樹等共通

1 【果樹カメムシ類】

(1) 予想：発生量 平年並

(2) 根拠：発生現況 やや少（－）

予察灯、フェロモントラップへの誘殺数は平年並～やや少ない

気象予報 気温は高い（＋）

その他 チャバネアオカメムシ等果樹を加害するカメムシ類の発生量には隔年性があり、本年は発生が少ない年に該当する。昨年は果樹カメムシ類の発生が多く、秋期の越冬世代成虫も多かったことから、越冬量も多い可能性がある。2週目以降の気温が特に高い日は、集中して飛来する場合があります、予想外の被害が発生する恐れがある。防除についての詳細は令和7年度病虫害発生予察防除情報第2号（令和7年5月2日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuiscangc.jp/archives/1320>）を参考とする。

防除上の留意点に記載している内容のほか、兵庫県総合防除計画を参照してください。

* 兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

* 病虫害・雑草防除指導指針 農薬の検索は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/noyakusearch/hyogo>

* 病虫害・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

* この情報は、兵庫県病虫害防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuiscangc.jp/>

「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)にて情報発信中。
発生予察情報など病害虫に関する情報をいち早く
提供しますので、フォローお願いします。
Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

